

令和6年度以降の小学校宿泊行事日程について

報告内容

令和6年度以降の小学校宿泊行事について、移動教室は2泊3日、夏季学園は1泊2日の日程によりそれぞれ実施するとともに、単独校での実施とします。

1 経緯

小学校の宿泊行事については、令和元年度まで、移動教室は3泊4日、夏季学園は2泊3日の日程で実施していました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、令和2年度は移動教室及び夏季学園を中止し、移動教室の代替行事として校外学習を実施するとともに、令和3年度は引き続き夏季学園は中止し、移動教室は冬期に1泊2日の日程で実施しました。

令和4年度及び令和5年度は、宿泊先である箱根ニコニコ高原学園における1部屋当たりの宿泊人数を制限するなど、新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながら、移動教室は2泊3日、夏季学園は1泊2日の短縮日程で実施しました。

2 現状及び課題

移動教室及び夏季学園の日程を短縮して実施する中で、小学校児童の状況や実施場所である箱根町周辺の現状について、次のように確認されました。

(1) 児童の状況

ア 移動教室及び夏季学園の日程を短縮しても、他者を思いやる行動や自ら率先して取り組む姿勢、自らの安全・健康面に留意する姿勢など、移動教室及び夏季学園がねらいとする児童の成長を促す体験活動を十分にできる。

イ 配慮を要する児童や、宿泊経験の少なく家を離れることに不安感じる児童、他者と長時間過ごすことに耐性のない児童が増えている。

ウ コロナ禍を経て児童の体力が低下している。

(2) 箱根町周辺の現状

ア 新型コロナウイルス感染症5類移行後のインバウンドをはじめとする観光需要の回復に伴い、特に土日祝を中心に箱根町周辺の観光施設や道路などが以前よりも混雑している。

(3) その他

ア 児童数の増加に伴い合同実施できる小学校が減少したため、実施枠数が増加するとともに、夏季学園はお盆期間の実施も必要となる。

| | 移動教室（3泊4日） | | | 夏季学園（2泊3日） | | | | |
|----|------------|-----|------|------------|-----|------|-----|----|
| | 児童数 | 実施枠 | 合同実施 | 児童数 | 実施枠 | 合同実施 | 土日祝 | お盆 |
| R元 | 1,393人 | 17枠 | 8校 | 1,299人 | 14枠 | 12校 | あり | なし |
| R6 | 1,738人 | 20枠 | 4校 | 1,725人 | 17枠 | 6校 | あり | あり |

<児童数及び学級数の推移 ※令和6年度以降は推計>

| | | H30 | R元 | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 |
|-----|----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 児童数 | 小5 | 1,419 | 1,437 | 1,518 | 1,601 | 1,606 | 1,686 | 1,706 | 1,858 | 1,861 | 1,938 |
| | 小6 | 1,356 | 1,422 | 1,453 | 1,518 | 1,588 | 1,622 | 1,686 | 1,706 | 1,858 | 1,861 |
| 学級数 | 小5 | 45 | 44 | 48 | 47 | 48 | 52 | 56 | 62 | 61 | 63 |
| | 小6 | 43 | 45 | 44 | 48 | 47 | 48 | 52 | 56 | 62 | 61 |

イ 合同実施では、雨天対応施設や高原学園内での行動が重複し、宿泊行事のねらいの達成が難しい。

3 令和6年度以降の小学校宿泊行事日程の方向性

以下に掲げる理由から、令和6年度以降、移動教室は2泊3日、夏季学園は1泊2日で実施するとともに、単独校での実施とします。

- (1) 令和4年度及び令和5年度における短縮日程による実施においても、移動教室及び夏季学園がねらいとする児童の成長が確認できたこと。
- (2) 短縮日程により、配慮を要する児童や、宿泊経験の少なく家を離れることに不安を感じる児童、他者と長時間過ごすことに耐性のない児童も参加・経験することができ、児童の自信の醸成に寄与していること。
- (3) 昨今の児童の体力状況を踏まえ、児童が体力的に余裕を持ち、積極的かつ主体的に各種活動に取り組むことができること。
- (4) 箱根町周辺の混雑状況を踏まえ、行程に余裕を持ち一つひとつの活動に十分に取り組むために、土日祝やお盆期間の実施は避ける必要があること。
- (5) 雨天時や緊急時の対応も含め、落ち着いた環境で活動するためには単独校での実施が望ましいこと。
- (6) 現下の児童数等と単独校での実施を踏まえ、移動教室を活動に適した期間（5月～10月）に3泊4日で実施すること、夏季学園をお盆期間を避けて2泊3日で実施することは、それぞれ難しいこと。